

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	テクニカル1		
<b>科目基礎情報</b>						
開設学科	ミュージックカレッジ科	コース名	プレイヤーコース（キーボード専攻）	開設期 前期		
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間		
単位数	1			授業形態 演習		
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。					
<b>担当教員情報</b>						
担当教員	杉山泰	実務経験の有無・職種	有・プロミュージシャン			
<b>学習目的</b>						
この授業ではジャンル別にマッチングした演奏家を目指すべく右手・左手の独立からコードボイシングなど多角的な演奏実習を行います。 毎回の授業で鍵盤の基本練習である指ならしから行い、鍵盤に慣れていくところからしっかりと指導していく。						
<b>到達目標</b>						
基本的な鍵盤演奏技術を身につけながら、鍵盤を「音楽ツール」として有機的活用できる能力を持つ。 自己の音楽的な目標に「柔軟な音楽性」をプラスして演奏到達度を高める。						
<b>教育方法等</b>						
授業概要	主にシンセパートの特訓。曲をリード譜を使用し構成・キー・リズム・ジャンルを理解することから実際に様々な年代のポップス・ヴォーカル曲の伴奏をピアノで実演するための指導を行う					
注意点	授業内容的に実技的要素が高い為、必ず復習と練習をしましょう。ひたすら常に弾き続けることにより習得が確実なものになります。遊び感覚のシムレートで弾いているだけでも十分効果はあります。どんな音でも構いませんので、聞こえてきた音を徹底的に鍵盤で表現してみましょう。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
<b>授業計画（1回～15回）</b>						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	概要	鍵盤（キーボード）の基礎知識と基本練習の紹介				
2回	鍵盤の基礎知識	鍵盤でのシムレーション紹介と練習				
3回	スケール練習1	キーボードの特訓1（スケール奏 右手）：ひたすらスケール！！（ドレミファソラシド編）				
4回	スケール練習2	キーボードの特訓2（スケール奏 左手）：ひたすらスケール！！（ドレミファソラシド編）				
5回	スケール練習3	キーボードの特訓3（スケール奏 右手）：ひたすらスケール！！（クロマティック編）				
6回	スケール練習4	キーボードの特訓3（スケール奏 左手）：ひたすらスケール！！（クロマティック編）				
7回	スケールテスト	見極めチェック 右手・左手・クロマティック				
8回	コードについて1	メジャートライアドの解説と理解				
9回	コードについて2	マイナートライアドの解説と理解				
10回	コードについて3	セブンスの解説と理解				
11回	コードについて4	add9thの付加 課題曲の中でのコードの付加				
12回	ベース・テクニック1	コードのルート演奏に慣れよう				
13回	ベース・テクニック2	コードのルート+5th（オルタネイト）の演奏に慣れよう				
14回	ベース・テクニック3	8ビートのバリエーション（Rock&Pops）				
15回	まとめ	指定されたコード進行でコード＆ベースで演奏セッション				